

1-③

復習と予習で次時の学習準備

【課題】

- 授業での学びに生きる家庭学習をさせたい。
- 算数の授業のタイムマネジメント力をつけたい。

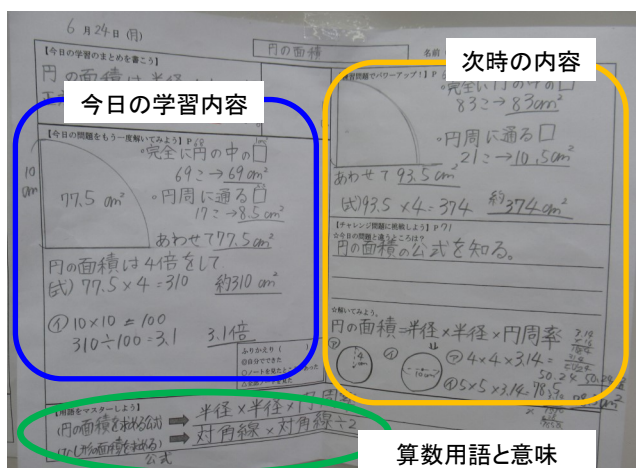
【内容】

- 授業の予習や復習を行うことを念頭において、「その日の授業における学び」「その日の家庭学習」「次の日の学習」というサイクルの構築に向けて取り組む。

「予習・復習プリント」の活用

【実施方法】

- 家庭学習で扱う内容を決める。（本時の問題の解き直しやまとめなど）
- その日の学び直しと次時の予習に使う欄が設けられたプリントを使用して取り組む。
- 4年生以上は4月から、3年生は3学期から取組を始める。
- 単元の中で、数回実施する。（特に押さえた内容や算数用語などがあるとき）



予習・復習プリントの活用

【成果・効果】

- 授業内容の確実な振り返りができる。
- 次時の学習内容を読んでから授業に参加するので、見通しがもて意欲的に取り組む児童が増えた。
- 授業の中で児童の活躍場面が増える。

【ポイント】

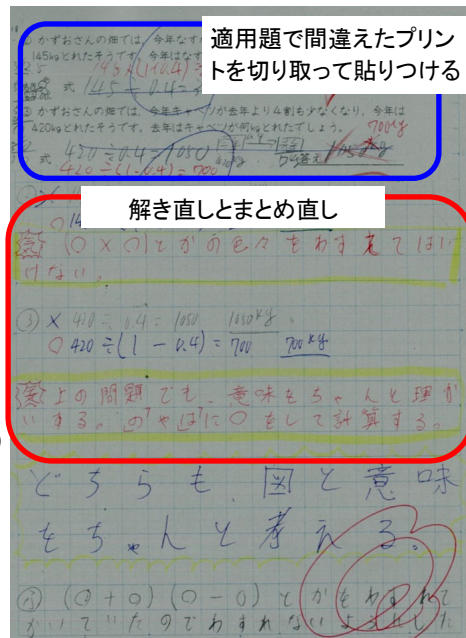
- つけたい力を明確にもち、しっかりとした単元構想と1時間1時間の授業設計が立てられていること。

(岩美中学校区)

自学で振り返り&次時の問題チャレンジ(算数)の実践

【実施方法】

- 家庭ですべきことを明確にする。算数の学習で間違えた問題、もう一度やり直したい問題等を自学ノートに解き直す。
- 指導者は、適用題で扱う問題を複数準備しておき、児童の学習意欲を喚起できるようにする。
- 次時の授業で学習するページの問題を、算数ノートに書いてくる。（解いても解かなくてもよい。）



復習の様子(自学ノート)

【成果・効果】

- 次時の学習に向けての準備として、問題を知ることで、授業に向かう意欲が高まった。
- 導入にかかる時間が短縮でき、適用題を解く時間が確保できる。（指導者は、適用題にかかる時間を15分間確保することを意識して授業を構成している。）
- 45分のタイムマネジメントと授業構成が意識され、児童の活躍場面が増える。